

《公立公的病院等再編・統合阻止》

2022年6月3日

# 424 愛知共同行動 通信

NO. 190

発行：「424 愛知共同行動」事

務局 愛知社保協地域医療委員会

(文責：長尾・☎052-871-7856)

## 「地域医療介護総合確保基金」(2014年～2020年の累計)

### の区分1-1 「病床再編」基金の執行率4割

☆愛知県は全国最低 12.0% (交付額 114.1 億円→執行額 13.6 億円)  
全国平均は 43.9% (交付額 2,779.8 億円→執行額 1,221.5 億円)  
最高は、熊本県 83.4% (交付額 60.9 億円→執行額 50.8 億円)

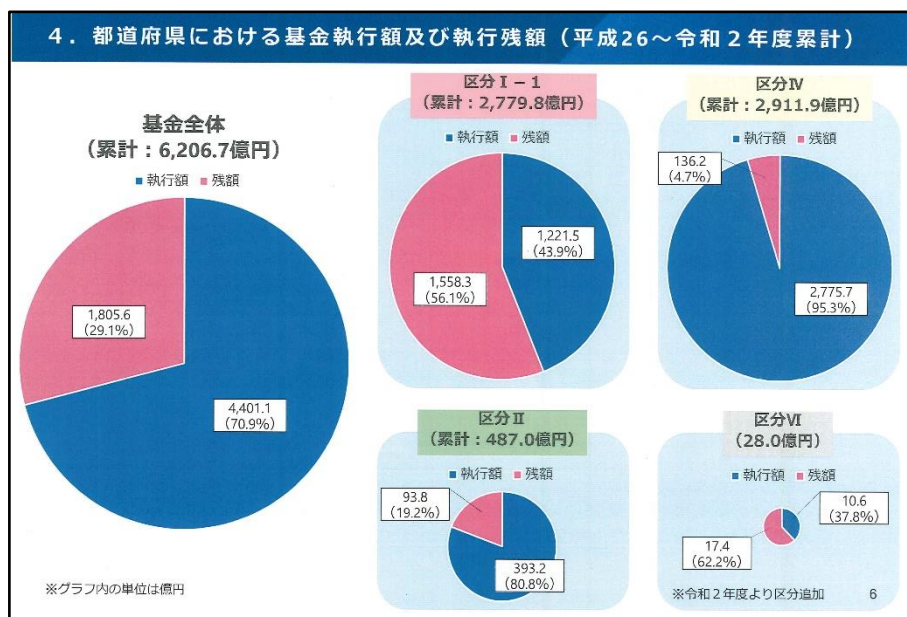
### 《6/2 内閣府官房—「厚生労働省行政事業レビュー」で判明》

厚生労働省は、6月2日に開催された内閣府官房「行政事業レビュー」の中で、2014年～2020年度までの「医療介護総合確保基金（医療分）」の都道府県別—交付金総額・執行額・予算執行率を明らかにしました。公表資料によると、基金の「区分1-1」（地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業）は累計—2,779.8億円が交付され、2020年度までに1,221.5億円（執行率43.9%）が執行されています。およそ1,500億円が未執行となっており、行政事業レビューに参加した有識者からは「不必要であれば積立金を返すべき」「執行額は適正か検証が必要」などの厳しい発言がされたと報道されています。

「医療介護総合確保基金（医療分）」は、国の予算は単年度予算（当初予算+補正予算+前年度からの繰り越し予算）で当年度予算が構成されます。一方、都道府県は、「基金」として「積み立て」方式がとられ、対象事業ごとの予算要求に対する国の補助が決定され交付されますが、一旦、「基金」にため込み、事業に対して県負担（3分の1）を上乗せして補助されます。令和2年度までの執行状況がこのように4割程度の執行にもかかわらず、厚労省は、令和3年8月「基金の計画的な確保について」（厚労省医政局地域医療計画課長）を各都道府県に発出し、積極的な基金による「蓄財」を求めています。（「424 共同行動通信」N0152参照）つまり、病床削減・機能転換・再編統合の具体化時には、集中して多額の補助金を執行できるようあらかじめ準備し蓄財することを求めているのです。今回の「行政事業レビュー」は、中央省庁の事業の無駄を点検するために政府が開催し、蓄財の実態が明らかにされたものですが、厚労省は、今後どのように整理して行くのでしょうか？

愛知県の交付額は114.1億円に対し執行額は13.6億円（執行率12.0%）と全国最低の執行率です。令和3年度以降に執行予定のめどが立っている額も18.0億円にすぎません。そ

れを執行してもさらに 83 億円が積立基金に残ります。執行率の最高は熊本県 83.4%（交付額 60.9 億円—執行額 50.8 億円）と公表されました。



一方、「区分IV」（医療従事者の確保に関する事業）は、全体で 2,911.9 億円の交付額に対し、執行額 2,775.7 億円（執行率 95.3%）と、おおむね各年度予算を執行している状況が明らかです。愛知県では交付額 106.9 億円、執行額 104.1 億円（執行率 97.4%）とほぼ予算通りの執行額です！つまり、「基金」の対象事業は、現在 7

区分に分けられていますが、対象事業ごとに執行率の格差が大きくなっています。「医療従事者の確保に関する事業」は、現に行われている事業や、新たな直接的事業が大半で、予算要求額が当年度中にほぼ執行されています。医師や看護師不足は深刻な状況であり、むしろ予算の大幅増額が必要であるとともに、その予算は、当年度中に執行がほぼ確実な直接的投資予算となります。区分 1—1 は、各都道府県が「地域医療構想」に基づく「必要病床数」を達成するために病床削減や、病床機能転換（不足する回復期病床へ転換させる）に対する見込み補助金（4 機能区分における過剰病床・不足病床に機械的に 1 床当たり補助額を掛けた総補助額）を計上し、それを厚労省が認めて用途が決まっていない補助金が多額計上され執行されていないということになります。

また、今回公表された「令和4年度行政事業レビューシート」（事業名—医療・介護サービスの提供体制改革のための基金）によると、令和4年度（2022年度）基金当初予算は 751 億円（以下、国費分）が決定されましたが、実際には、前年令和3年度の予算執行残高—501 億円が繰越され、国費予算総額は 1252 億円に大きく水膨れしていることも明らかとなっています！つまり、本当の予算は、当初予算の 1.7 倍にもなっているのです！これが、さらに区分1の病床削減や病院の再編統合予算に湯水のように補助金垂れ流しされるのではなく、「医師・看護師など医療従事者の確保」に向けた処遇改善やキャリア・アップ、奨学金や養成学校補助金増額などに使われるよう全国で大きな運動を巻き起こしていく必要があります！

予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		当初予算	68,910	79,577	85,077
	補正予算	-	-	-	-
	前年度から繰越し	-	13,970	37,655	50,101
	翌年度へ繰越し	▲ 13,970	▲ 37,655	▲ 50,101	
	予備費等	-	-	-	-
	計	54,940	55,892	72,631	125,178
	執行額	54,940	55,618	56,178	
	執行率 (%)	100%	100%	77%	
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合 (%)	80%	70%	66%	

費予算総額は 1252 億円に大きく水膨れしていることも明らかとなっています！つまり、本当の予算は、当初予算の 1.7 倍にもなっているのです！これが、さらに区分1の病床削減や病院の再編統合予算に湯水のように補助金垂れ流しされるのではなく、「医師・看護師など医療従事者の確保」に向けた処遇改善やキャリア・アップ、奨学金や養成学校補助金増額などに使われるよう全国で大きな運動を巻き起こしていく必要があります！



## 5-2. 地域医療介護総合確保基金（医療分・区分I-1）の都道府県別累積執行状況 （平成26～令和2年度交付分）

### 【区分I-1】地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業

都道府県	a.交付額		b.執行額		執行率 b/a	参考：執行（予定）額		都道府県		a.交付額		b.執行額		執行率 b/a	参考：執行（予定）額	
	執行額	予定額	執行率	予定率		執行額	予定額	執行額	予定額	執行額	予定額	執行額	予定額		執行率	予定率
01 北海道	40.2	(26.8)	18.3	(12.2)	45.7%	40.2	(26.8)	19.3	(12.9)	12.7	(8.5)	65.8%	17.1	(11.4)	19.3	(12.9)
02 青森県	67.1	(44.8)	21.3	(14.2)	31.7%	21.3	(14.2)	77.5	(51.7)	40.9	(27.3)	52.8%	59.5	(39.6)	77.5	(51.7)
03 岩手県	40.4	(26.9)	30.9	(20.6)	76.5%	30.9	(20.6)	170.2	(113.4)	76.5	(51.0)	44.9%	165.1	(110.1)	170.2	(113.4)
04 宮城県	19.2	(12.8)	7.0	(4.6)	36.2%	7.0	(4.6)	123.4	(82.3)	68.4	(45.6)	55.4%	123.4	(82.3)	123.4	(82.3)
05 秋田県	91.2	(60.8)	49.5	(33.0)	54.3%	90.6	(60.4)	28.5	(19.0)	11.3	(7.5)	39.6%	16.5	(11.0)	28.5	(19.0)
06 山形県	37.8	(25.2)	10.7	(7.2)	28.4%	36.7	(24.4)	39.4	(26.3)	7.2	(4.8)	18.2%	38.7	(25.8)	39.4	(26.3)
07 福島県	43.5	(29.0)	27.1	(18.1)	62.3%	29.8	(19.8)	66.2	(44.1)	40.9	(27.3)	61.9%	44.9	(30.0)	66.2	(44.1)
08 茨城県	88.8	(59.2)	26.3	(17.5)	29.6%	88.3	(58.9)	46.6	(31.1)	33.6	(22.4)	72.0%	46.3	(30.9)	46.6	(31.1)
09 栃木県	39.6	(26.4)	12.7	(8.4)	31.9%	35.8	(23.9)	44.4	(29.6)	14.8	(9.9)	33.4%	40.4	(26.9)	44.4	(29.6)
10 群馬県	22.0	(14.7)	7.6	(5.1)	34.5%	7.6	(5.1)	70.6	(47.1)	23.3	(15.5)	33.0%	23.3	(15.5)	70.6	(47.1)
11 埼玉県	58.5	(39.0)	22.1	(14.7)	37.7%	26.7	(17.8)	36.4	(24.3)	23.0	(15.3)	63.1%	36.4	(24.3)	36.4	(24.3)
12 千葉県	72.7	(48.4)	27.2	(18.1)	37.4%	28.2	(18.8)	71.5	(47.7)	52.1	(34.7)	72.8%	69.0	(46.0)	71.5	(47.7)
13 東京都	326.0	(217.3)	96.1	(64.1)	29.5%	96.1	(64.1)	29.1	(19.4)	12.8	(8.5)	44.0%	12.8	(8.5)	29.1	(19.4)
14 神奈川県	70.1	(46.7)	52.0	(34.7)	74.3%	70.1	(46.7)	65.4	(43.6)	20.3	(13.6)	31.1%	64.5	(43.0)	65.4	(43.6)
15 新潟県	59.9	(40.0)	40.0	(26.7)	66.8%	58.7	(39.1)	24.1	(16.0)	15.4	(10.3)	64.1%	21.9	(14.6)	24.1	(16.0)
16 富山県	35.0	(23.3)	5.1	(3.4)	14.5%	5.1	(3.4)	104.6	(69.8)	43.6	(29.0)	41.6%	94.5	(63.0)	104.6	(69.8)
17 石川県	39.3	(26.2)	14.5	(9.6)	36.8%	17.7	(11.8)	24.7	(16.5)	11.6	(7.7)	46.9%	22.6	(15.1)	24.7	(16.5)
18 福井県	59.4	(39.6)	42.0	(28.0)	70.8%	42.0	(28.0)	28.5	(19.0)	5.9	(3.9)	20.7%	28.4	(18.9)	28.5	(19.0)
19 山梨県	28.1	(18.7)	5.7	(3.8)	20.2%	19.2	(12.8)	60.9	(40.6)	50.8	(33.8)	83.4%	50.8	(33.8)	60.9	(40.6)
20 長野県	42.2	(28.1)	26.6	(17.7)	63.1%	38.7	(25.8)	32.8	(21.8)	14.8	(9.9)	45.3%	15.1	(10.1)	32.8	(21.8)
21 岐阜県	22.1	(14.7)	7.1	(4.8)	32.3%	7.1	(4.8)	58.7	(39.1)	23.3	(15.5)	39.6%	58.6	(39.1)	58.7	(39.1)
22 静岡県	64.8	(43.2)	23.5	(15.7)	36.3%	23.5	(15.7)	28.3	(18.9)	6.0	(4.0)	21.3%	24.2	(16.1)	28.3	(18.9)
23 愛知県	114.1	(76.1)	13.6	(9.1)	12.0%	18.0	(12.0)	18.6	(12.4)	7.2	(4.8)	39.0%	7.2	(4.8)	18.6	(12.4)
24 三重県	28.0	(18.7)	18.2	(12.1)	64.8%	18.9	(12.6)	2,779.8	(1,853.2)	1,221.5	(814.3)	43.9%	1,939.3	(1,292.9)	2,779.8	(1,853.2)

※計数は、それぞれ四捨五入によっているので、端数において合計と合致しないものがある。  
 ※執行（予定）額は、令和3年度以降に具体的な執行予定の目的が立っている金額を含んでいる。  
 ※執行率は、令和3年度以降に具体的な執行予定の目的が立っている金額をベースで計算している。